

令和2年も大詰め、今年もありがとうございました！

12月号



Vol. 016

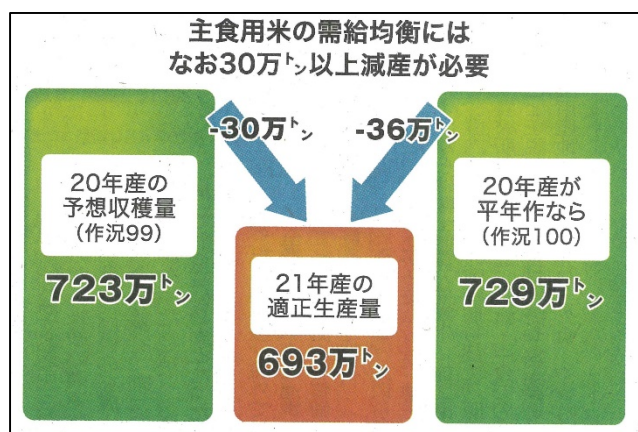
昭和肥料ニュース FAX版

【過去最大の正念場！】

令和3年は、米生産量32万トン削減（令和2年比）

令和3年の主食米の適正生産量が693万トンと発表されました。ところによっては、作付け面積、事前契約の見直しにより、肥料の購入数量変更を余儀なくされ、引取りが遅くなっています。

加えて、今年後半から米の需要が低迷し、倉庫の米在庫の出荷も遅れていることから、土改材も出荷が低調な地域があります。

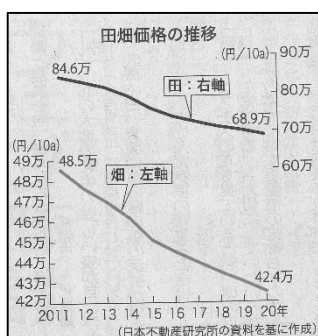
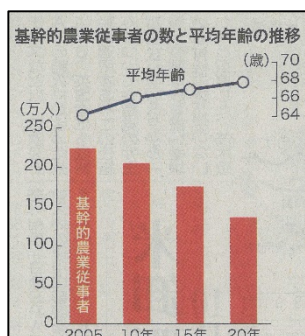


このため、肥料生産業者の在庫水準が高止まりし、当用期に向けた備蓄が遅れる可能性が高まってきました。

このような状態で、当用期直前に供給要望が重なると、一時的にしても欠品が発生する恐れがあります。また、トラック等物流は、以前よりタイトではありませんが、当用期になるとそれなりの不足感が出てくることは否めません。

このように考えると、例年のごとく、早めのオーダーが肝要です。

作付面積がどのように決まってくるか、また、急には難しいものの転作する面積がどうなるか、情報が欠かせません。早期の情報から早期のオーダーを！



また、農業従事者数は5年前比較で▲40万人となりました。全体の耕作面積も減少が続いており、出荷売上を伸ばすべく、今まで気にならなかった作物への販売展開などがますます重要になってきました。

本年度中は大変お世話になりました。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。

スタッフ通信

弊社スタッフの近況や
つぶやきをご紹介します♪

生産部の池田さん に聞いてみました！

製品の成分安定の根幹である原料の混合と弊社得意な粉砕加工工程の長の池田さん。年末年始にはスキーをするのが楽しみだそうです。「雪が降ってほしいな～」と重機コックピットから天を仰ぎながらの談でした。



ホームページにも来てね！ HPアドレス <https://showa-f.co.jp>